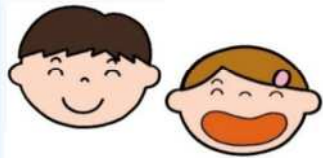


～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 21

令和4年1月11日発行 袋井市幼児教育センター

ICT を活用して学びに向かう力をはぐくみます



袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	1)自立心
	2)道徳性 規範意識の芽生え
	3)健康な心と体
	4)社会生活との関わり
学びに向かう力	5)自然との関わり・生命尊重
	6)言葉による伝え合い
	7)協同性
基礎となる力の	8)思考力の芽生え
	9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	10)豊かな感性と表現
	考える・やってみる

学びに向かう力を育てるためのタブレット活用

タブレットで「まちがいさがし」の問題を作る子どもたち

小中学校では、一人一台のパソコンやタブレット等の ICT 機器を導入し、情報活用能力や創造性を育む教育が行われています。市内公立園5園でも、学びに向かう力を育てるための教材として、タブレットを使った活動実証が始まっています。

タブレットを使った活動のポイントは①具体的な活動、②子ども同士の対話、③学びの繋がりの3つです。遊びの中で重さや長さ、形や数など、“数の概念”に触れている子どもたち。タブレットを使った活動をきっかけとして“数”を意識し、興味関心が膨らんでいきます。また、タブレット教材で得た知識や感覚は、生活の中で意識できるように、意図的な活動（遊び）に結びつけ「デジタルとアナログ」を経験することで、より深い学びにつながるようにしています。

幼児期の ICT 機器を使った教育で配慮することは、タブレットを使って学ぶ機会を設けるだけでなく、実際の体験や活動(遊び)との「結びつきや繋がり」を大切にすることです。

子ども同士の対話

タブレットを使う中で、子ども同士の対話も大切にしています。グループでの活動を取り入れ、子ども同士で考えを伝えあい、試行錯誤する中で、協調性や自己効力感（自分ならできるかもしれない！）を高めていきます。

友達と相談しながら進める子どもたち



本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

